

「湖山池周辺地域公園基本計画」

テーマ

「霞の里づくり～泳げる湖山池をめざして～」

基本方針

【地域】:「泳げる湖山池」実現するための総合的な地域「風土」づくり

【公園】:「霞の里」環境ふれあい公園「エコ・パーク」づくり

【仕組】:まもり・つくり・つかうシステム(仕組み)づくり

まもり(保全)・つくり(創生)・つかう(活用)

きれいな水

たくさんの
生き物や緑

美しい風景

貴重な
歴史的遺産

活発な
地域産業

湖山池流域全体で取り組み、将来的に「泳げる湖山池」をめざす。

自然の保全・再生に努め、魚類をはじめとする生物の生息環境の改善を図る。また、湖山池全体を「エコ・パーク」として位置付け、自然を利用した環境教育の拠点とする。

既設のコンクリート護岸の多自然化・なぎさ護岸を復元する。

自然と人とが共生しつくり出した、水辺(近景)集落(中景)

山々(遠景)の奥行きのある「霞の里」の風景を創出する。

湖山池周辺の歴史・文化・伝統を保全・活用することで、後世へ伝承していく。

自然環境とバランスの取れた地域経済の活性化をめざし、湖山池周辺ならではの農林水産業や地域振興を行うことにより、活力ある豊かな生活基盤と特色ある集客地域の実現を図る。

湖山池全体を環境学習フィールドとして位置付け、教育・学習・地域コミュニティ形成事業のモデル地区としていく。

湖山池流域の視点による、参加型環境創造と環境教育の拠点にふさわしい「エコ・パーク」づくりを行う。

湖山池を身近に感じ、自転車・歩行者が安全に通行できる水辺の遊歩道を確保するとともに、各地区へのアクセス・連携がスムーズな交通基盤を整える。

自然環境・水質環境保全を推進し、「泳げる湖山池」を実現するための総合的な地域づくり
景観・生態系・歴史文化などを保全する環境ふれあい公園づくり
行政、市民、諸団体、大学などの連携が円滑かつ効果的に行われる体制の仕組みづくり

公園基本計画

「霞の里づくり」のビジョンを具体化するため、特に公園などの整備に関わるものについて基本計画を策定しました。(4・5ページ参照)

この基本計画は、平成十三年に策定した「霞の里構想」に基づき、公募委員も含めた委員会で検討を重ね取りまとめたものです。

問い合わせ先 公園街路課
(203287)

私たちの湖山池

東西四キロメートル、南北二・四キロメートル、周囲十六キロメートルで、面積は六・八平方キロメートルあります。自然の池としては日本一の大きさです。淡水と海水が混じった汽水湖で、青島、津生島、猫島など大小の島々が浮かんでいます。一夜にして水田が湖水と化したという「湖山長者」伝説があり、別名「かすみ湖」と呼ばれています。

